

平成 29 年度

国際高校防災新聞 第 3 号

平成 30 年 3 月  
総務・広報・医

阪神・淡路大震災 東日本大震災の  
漫画で学ぼう

「とっさのひとこと」

次の各場面に、もしあなたがいた  
とっさに出てくるのはどんな言葉で  
か。登場人物になりきってセリフを  
してみましょう。裏面では各シー  
ンリフの例や、アドバイスが載って

scene 4



## scene 1 「うそ」「大丈夫と思ったのに」「危なかった」

震災では家具の下敷きになった人が人や犠牲者がたくさん出ました。

## scene 2 「待って」「準備しとけばよかった」「早くしなきゃ」

地震避難生活に必要なもの、あると便利なものを考えて準備しておきましょう。

## scene 3 「たしか〇〇が避難所だったよね」「高いところの方がいいよ」

状況に応じた避難場所や避難経路をあらかじめ考えておくことが大事です。

## scene 4 「どうしよう」「困ったわ」「お父さんどこにいるのかしら」

災害時には、電話やメールが繋がりにくくなります。

## scene 5 「いっちゃだめ」「津波が来るよ」「すぐ逃げよう」

海や川の近くにいるときに地震が起こったら、すぐに離れましょう。

## scene 6 「これだけしかない」「この水で何日もつかなあ」

ふだん気づきませんが、生活の中で思っている以上に水を使っています。

## scene 7 「持っていません。どうしよう」「入れ物ももらえるんだと思って」

給水車に水をもらいに行く時は、バケツや水タンクが必要です。

「とっさのひとつこと」は、震災を体験された方々へのヒアリング結果をもとに製作された防災教育教材です。登場人物と同じ気持ちを疑似体験し、地震や津波も含めた災害から身を守るために、自分で考え自分で行動できるようになってほしいというねらいで作られました。このプリントはほんの一部ですが、災害発生時、避難時、避難所生活の様子など22の状況シーンが描かれ、無料で公開されていますので、ぜひ見て家族・友人にも教えてあげてください。

資料（インターネットで公開されています）

- ・公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
NPO法人プラス・アーツ
- ・内閣府 TEAM 防災ジャパン
- ・兵庫県教育委員会 防災教育副読本「明日に生きる」